

学校再編だより

古城小学校

— 第2号 —

— 保護者と地域の協働による検討会議 —

令和5年8月発行

旭市教育委員会教育総務課 学校再編室

第1回古城小学校の再編に係る 地域検討会議を開催しました

7月12日（水）午後6時30分から古城小学校ランチルームにおいて、古城小学校地域検討会議を開催しました。

はじめに、教育長から委嘱書の交付があり、保護者代表5名、地域住民代表4名、学校教育関係者2名、福祉関係者4名、青少年育成関係者3名、その他教育委員会推薦者5名の計23名を委員として任命しました。その後、会長・副会長が選出され、会長の進行により会議が進められました。

今回の会議では「会議の目的と運営方法」、「学校再編基本方針の概要」、「干潟地域の各小学校の現状と保護者アンケート結果」について、教育委員会から説明し、その後意見交換を行いました。

委員からは「早く統合してほしい」、「通学路の安全確保をしてほしい」、「土砂災害対策をしてほしい」などの意見がありました。

（詳細は裏面に掲載）



第1回地域検討会議の様子

会議で出た意見をもとに、今後も古城小学校の再編について検討していきます。

第2回会議開催 日時：令和5年9月4日（月）午後6時30分から
場所：干潟公民館1階ホール

※この会議は傍聴することができますが、会場内のスペースの関係により定員を10名とします。あらかじめご了承ください。

第1回古城小学校地域検討会議で出た主な意見

委員から出た意見を要約して掲載しています。

○道路の整備など、通学路の安全確保を考えてもらいたい。	○統合まで4、5年ということだが、もっと早くならないのか。
○アンケートでいただいた意見に対する回答は検討しているのか。	○すでに再編の方向性は固まっているので、要望をまとめることを主に会議を進めてもらいたい。ここまできたらスピード感が大事。
○統合するということをわかっていない子どもたちもいると思うので、子どもたちにもアンケートを取ってどう思っているのか聞いてみたい。	○登下校の安全を第一にしてほしい。スクールバスを出した場合、きちんと人数確認などを行ってほしい。
○古城小への統合はもう決定事項だと思うところもあるが、どこまでが決定していて、どこからが検討できることなのかははっきりしてもらいたい。	○すでに統合を行っている他市の状況、デメリットなどを教えてもらいたい。
○できれば早めに統合してあげたほうがいいと思う。廃校となる学校の活用に関しても、早い段階で決めてもらいたい。	○統合になるという話を最初に聞いたのはもう随分前なので、早く進めてもらいたい。
○子どものことを一番に考えて、早く統合を進めてもらいたい。	○土砂災害警戒区域に入っているとのことなので、その対策をしっかりとってもらいたい。
○旭のほかの地域とばらつき感がある。早く意見がまとまれば早く統廃合するのか。	○古城小に通っている子どもたちや保護者、教職員に不便なところや直したほうがいいところをアンケートを取って聞いたらいいと思う。
○安全面と子どもたちの教育の質の確保を大事にした統合を進めていけばいいと思う。	○安全に通ってもらいたいので、バスを出してもらったり、通学路の安全対策、土砂対策をきちんとしてもらいたい。
○小規模校の良さもある反面、同級生の固定化や意見交換の質など苦慮する部分もある。	○古城小は土砂災害警戒区域に入っており、旧干潟町の端に位置することから、中心部である中和地区に新しい学校を新設することは考えられないか。
○こういうアンケートがあったことを知らなかった。	○災害があった場合にはここが避難場所になると思うので、土砂災害対策は早急にやってもらいたい。
○古城地区の児童にもスクールバスは出るのか。	○スピード感をもって早く進めてもらいたい。また中和、萬歳も含めて地域の一体感の醸成をうまくやっていけたらいい。

